

## 第4回「関西スポーツ応援企業表彰」の受賞企業決定について

関西広域連合・関西経済連合会では、従業員のスポーツ活動の促進に向けた取組みやスポーツ分野における社会貢献活動等を通じ、スポーツ振興や地域経済活性化に貢献している企業等を「関西スポーツ応援企業」として表彰し、広く周知することにより、企業におけるスポーツ活動を推進するとともに、スポーツへの参加に対する社会的機運の醸成を図り、「生涯スポーツ先進地域関西」の実現を目指しています。

この度、第4回「関西スポーツ応援企業表彰」の「大賞」「スポーツ振興賞」「地域振興賞」「健康経営賞」「特別賞」受賞者を下記のとおり決定しましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 受賞企業

- ＜大 賞＞ 住友電気工業 株式会社
- ＜スポーツ振興賞＞ 早駒運輸 株式会社
- ＜地域振興賞＞ 大塚ホールディングス 株式会社
- ＜健康経営賞＞ 株式会社 世古工務店
- ＜特別賞＞ 株式会社 ワントウーテン

※受賞者の概要と受賞理由、関西スポーツ応援企業表彰の概要については別紙を参照ください。

以 上

## 「関西スポーツ応援企業表彰」の概要

### (1) 表彰制度の目的

従業員のスポーツ活動の促進に向けた取り組みやスポーツ分野における社会貢献活動等を通じ、スポーツ振興や地域経済活性化に貢献している企業、および、健康経営の実践による従業員の健康維持・増進に取り組んでいる企業等を「関西スポーツ応援企業」として表彰し、広く周知することにより、企業におけるスポーツ活動を推進するとともに、スポーツへの参加に対する社会的機運の醸成を図り、「生涯スポーツ先進地域関西」の実現を目指す。

### (2) 実施主体

主 催: 関西広域連合、関西経済連合会

共 催: 関西スポーツ振興推進協議会

特別協力: ワールドマスターズゲームズ 2021 関西組織委員会

### (3) 表彰対象

関西の2府8県（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、三重県、福井県）に本社・支社または、事業所が所在する企業、社会法人、財団法人、学校法人等

### (4) 各賞の評価の視点

スポーツ振興賞	スポーツ振興への取り組みを評価。特に継続性や独自性、参加者数を優位に評価する。
地域振興賞	スポーツを通じた地域貢献への取り組みを評価。特に取り組みの継続性や独自性を優位に評価する。
健康経営賞	自社社員の健康増進のためにスポーツの実施促進への取り組みを評価。特に取り組みの継続性や独自性、参加者数または社内への浸透度合いを優位に評価する。
特 別 賞	大賞と上記3賞以外の企業から、「特徴のある取り組み」を評価。特に企業規模が小さい企業を優位に評価する。

### (5) 選考委員会 委員（委員は氏名五十音順）

委員長 山口 泰雄（流通科学大学特任教授、神戸大学名誉教授）

委 員 伊坂 忠夫（大学スポーツコンソーシアム KANSAI 会長、立命館大学副学長・スポーツ健康科学部教授）

委 員 稲次 一彦（関西広域連合スポーツ部長）

委 員 奥野 史子（アスリートネットワーク副理事長、バルセロナオリンピック アーティスティックスイミング ソロ・デュエット銅メダリスト）

委 員 野崎 治子（関西経済連合会スポーツ振興委員長）

委 員 中塚 則男（ワールドマスターズゲームズ 2021 関西組織委員会事務局長）

委 員 柳本 晶一（アスリートネットワーク理事長、アテネ・北京オリンピック全日本女子バレーボールチーム監督）

以 上

## 第4回 関西スポーツ応援企業表彰

### 受賞企業の取り組み

大 賞

## 住友電気工業 株式会社

本社所在地 : 大阪市中央区北浜4-5-33 住友ビル

業 種 : 非鉄金属

ホームページ : <https://sumitomoelectric.com/jp/>

## 【概要・受賞理由】

SEIチャレンジカップ&住友電工スポーツアカデミー  
(社内スポーツイベント&運動教室)

- 2015年に健康経営宣言を公表。重点対策の一つ、「社員や家族の健康増進活動への支援」の一環として2018年12月以降、年に2回、

## ①チャレンジカップ

(同好会等による野球やバレーの試合)

## ②スポーツアカデミー

(元日本代表トップ選手による技術指導で地域住民も参加)

を住友総合グラウンドで開催。

- コロナ禍により2020年秋以降はオンラインにて開催し、世界13カ国に跨るグローバルな大会に。

- 2018年より通算15,000名の参加があり、直近の2022年秋季大会には4,030名が参加。

前回春季大会実施後のアンケートでは約33%が「新たに運動習慣が身についた」と回答。また、チームの一体感醸成や職場内コミュニケーションの活性化、健康リテラシーが高まった等のコメントが得られた。

2019春SEIチャレンジカップ  
リレーマラソン大会2020秋スポーツ  
アカデミー 陸上  
競技部選手による  
ストレッチ講座2022秋SEIチャレンジカップ  
告知ポスター

## スポーツ振興賞

## 早駒運輸 株式会社

本社所在地 : 神戸市中央区波止場町5番4号

業 種 : 海運、物流・倉庫

ホームページ : <https://www.hayakoma.com/>

## 【概要・受賞理由】

## 女子ラグビーチームの支援を通じたラグビー文化発信

- ・兵庫県・関西の高校女子ラグビー選手が関東圏などに流出する中、2018年より地元女子ラグビーチームの支援を開始。
- ・地域密着のチームとするため、一般社団法人神戸ファストジャイロ設立（2019年11月）。代表理事に早駒運輸社長が就任、事務局を本社内に設置。
- ・関西の大学出身選手の雇用、社会で活躍する女性の育成と地域活性化を目的に、神戸親和女子大学と連携協定を締結。
- ・神戸ファストジャイロは、日本一のクラブチームを目指し、実績ある指導者・トレーナーを招聘して選手の競技力強化を図るとともに、地域イベントへの参加・協力を通じ、スポーツを通じた健康文化の向上や地域振興、神戸のスポーツ文化創出に貢献。
  - － 神戸ファストジャイロカップ開催
  - － 兵庫県教育委員会「体カアップサポーター派遣事業」に参加し、小学校へ選手・職員を派遣
  - － 神戸マラソン、神戸まつりへの参加・協力 など

※神戸ファストジャイロURL <https://kobefastgyro.com/>



第1回神戸ファストジャイロカップ  
関西学院大学上ヶ原グラウンドにて  
(2022年10月)



神戸ファストジャイロ新体制発表記者会見  
boh boh KOBE前にて (2022年3月)

## 地域振興賞

## 大塚ホールディングス 株式会社

本社所在地 : 東京都千代田区神田司町2-9

業 種 : 医薬品

ホームページ : <https://www.otsuka.com/>

## 【概要・受賞理由】

## スポーツを通じた地域貢献 (発祥の地、徳島での活動を中心に)

○ Jリーグ加盟の「徳島ヴォルティス」※による地域の健康維持・増進、スポーツ振興のための活動

- ・ 幅広い層が対象のサッカー教室、美馬市・大塚製薬との協働による Jリーグ初の S I B (ソーシャル・インパクト・ボンド) 「ヴォルティスコンディショニングプログラム」により、市民の運動習慣改善に貢献。

※徳島ヴォルティスの前身は大塚製薬サッカー部。

○大塚製薬陸上競技部 (本拠地: 鳴門市) によるジュニア等の陸上競技普及に向けた活動

- ・ 2016年より年1回、徳島陸上競技協会と共催で、ジュニアアスリートの強化・普及および振興を目的とする「徳島アスリートミーティング」を開催
- ・ 1990年より開催されている「徳島中長距離記録会」への選手・スタッフによる運営協力 など



ヴォルティスコンディショニングプログラム



徳島アスリートミーティング (2022年12月)

(備考) 大塚グループの発祥企業である「大塚製薬工業部」(1940年大塚製薬工場に改称)は、1921年、化学原料メーカーとして徳島県鳴門の地に創立。

## 健康経営賞

## 株式会社 世古工務店

本社所在地 : 三重県鈴鹿市磯山 4-8-22

業 種 : 建設

ホームページ : <https://www.seko-c.co.jp/>

## 【概要・受賞理由】

## スマートウォッチの利用で運動機会の増進 「グッドライフ制度」

- 社員の運動機会増進のため、2020年10月、全社員にスマートウォッチを支給。

個人毎に運動目標を立て成果を数値化。事業部毎にトレーニングリーダーを決め集計・表示。

- 2021年3月に就業規則・賃金規定に「グッドライフ制度」を導入し、達成歩数に応じて奨励金を支給。
- 2022年3月からは奨励金の支給に加え、1か月の平均活動歩数をポイント化し表彰。

高血圧、糖尿病、脂質異常症、メタボリックシンドロームの予防(改善)の可能性がある8000歩の達成を目標とし、1年間のポイント獲得数が基準に達成していた者は「トップ・オブ・ウォーカー」として表彰。

副賞として健康的な生活を目的とした食品・グッズ等の購入費を補助。



自分の努力で達成可能な目標を設定



定期的に達成状況を見える化



三重とこわか健康経営カンパニー  
3年連続認定

## 特別賞

## 株式会社 ワントゥーテン

本社所在地 : 京都市下京区烏丸通四条下ル水銀屋町620番地 COCON烏丸

業 種 : サービス業

ホームページ : <https://www.1-10.com/>

## 【概要・受賞理由】

## CYBER SPORTS プロジェクト

- デジタルテクノロジーによってパラスポーツを多くの人に体験してもらい、身近に感じてもらうプロジェクト。

車椅子マラソンのスピードを体感できる車椅子型VRレーサー“CYBER WHEEL”、自動計測システムの搭載で審判がいらず誰でも簡単に体験できる“CYBER BOCCIA”を開発。

- テクノロジーによる仮想体験のため、競技場などの環境が整っている必要がなく、また、エンターテインメント性を持たせることで、「障害があるのにすごい」となりがちなパラスポーツを、自分も楽しめるもの、より身近なものと感じられ、パラスポーツを盛り上げることを狙っている。
- 全国各地のイベント等で展示され、パラスポーツの普及やダイバーシティの推進に貢献。

CYBER WHEELは、G20大阪サミット（2019年6月）開催時、未来の産業技術の1つとして国際メディアセンターに展示された。また、CYBER BOCCIAは、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の選手村に設置され好評を博した。



CYBER WHEEL



CYBER BOCCIA